

四万十市郷土博物館

〒787-0000 高知県四万十市中村2356 為松公園内

TEL & FAX.0880-35-4096

<http://www.city.shimanto.lg.jp/site/museum/>

40010museum@city.shimanto.lg.jp

利用のご案内

開館時間：9：00～17：00(入館は16：30まで)

休館日：毎週水曜日

メンテナンス等で臨時休館とすることがありますので、詳しくは下記までお問い合わせ下さい)

入場料：大人440(350)円／高校生170(130)円

()内は20人以上の団体割引料金

年間パスポート：大人1320円／高校生520円

※特別企画展時は料金に変更となる場合がございます。

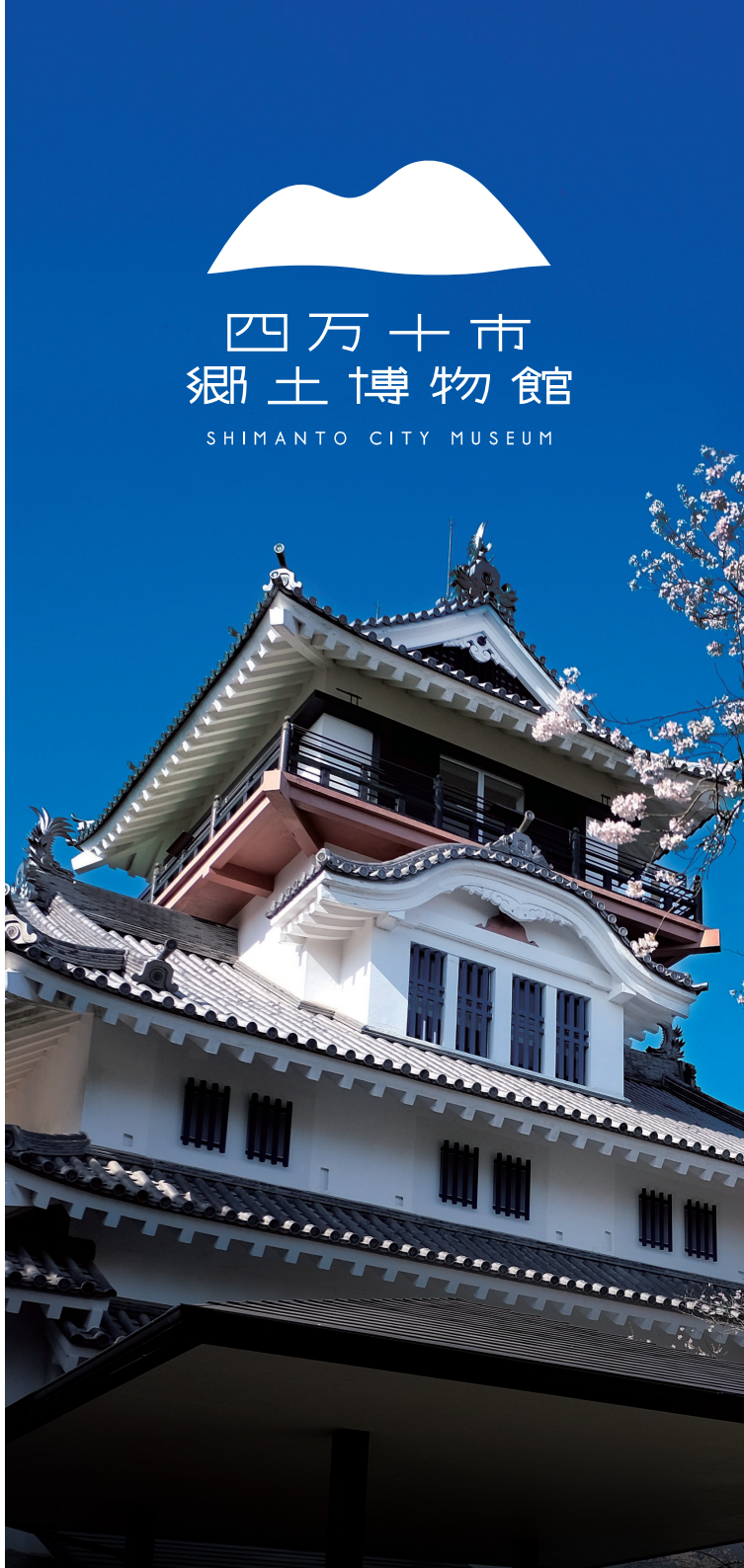
※入場料を徴収しない者 ①65歳以上の者(年齢確認要) ②身体障害者手帳を提示した者のうち、障害の程度が2級以上の者及びその介護者1人 ③療育手帳を提示した者及びその介護者1人 ④精神障害者保健福祉手帳を提示した者のうち、障害の程度が2級以上の者及びその介護者1人

交通アクセス：土佐くろしお鉄道中村駅より車で約12分



四万十市郷土博物館

SHIMANTO CITY MUSEUM

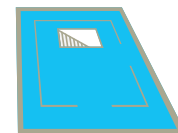


四万十市は古くから幡多地域(高知県西南部)の中核として発展してきました。その発展には町の中心を流れる四万十川が大きく関係してきました。暮らしや営み、流通・往来や政治に至るまで私たちの町は川とともに成長してきたと言っても過言ではないでしょう。現在、四万十川には四季を通じて川面に人の姿があります。川漁や遊び、ツーリズムなど関わる人も関わり方も様々ですが、それらすべてに楽しみや価値を提供できる川が『四万十川』なのです。当館では四万十川流域で続いている市域の歴史や暮らし、文化をみなさんと共有することで町の未来を考える礎とし、様々な活動を展開していきます。四万十市の情報発信や交流の拠点として、また皆様の憩いの場として、活用していただけることを願っています。

6F

展望フロア

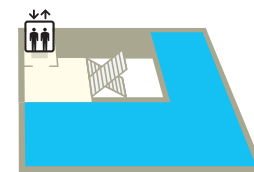
市街地を一望できます。
土佐の小京都中村の姿を広く見渡せます。



3F

企画展示フロア

歴史、文化、民俗、生き物等様々な資料で地域の文化を紹介します。



2F

常設展示フロア

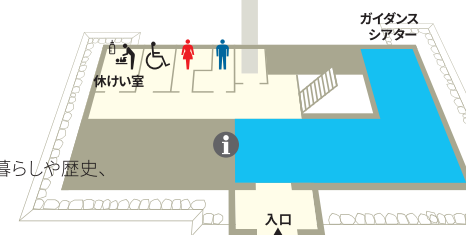
四万十市に伝わる貴重な歴史資料を落ち着いた空間で紹介します。



1F

ガイダンスフロア

四万十川と営まれてきた暮らしや歴史、自然環境を紹介します。



※1階から3階まではエレベーターをご利用いただけます。



イノセラムス化石

ジュラ紀から白亜紀にかけて
全世界に生息した
二枚貝の化石。



三里式土器
四万十川沿いの
遺跡から出土した縄文土器。



古津賀遺跡群 出土遺物

川のマツリで使われた土器。



ど土錘

縄文時代から古墳時代の
市内の遺跡から出土している
川漁用の土製のオモリ。

四万十川と

原始時代から今日まで、
四万十川流域に暮らす人々は
川で魚を獲ったり、山で木を育てたり、
川や山とたくさん関わりを持ってきました。
関わり方は時代とともに変わっていますが、
それらと共に生きる暮らしが続いています。



銅矛

具同で出土した弥生時代の祭祀道具。

共に刻まれし

応仁の乱を機に京都で政治の中心的役割を担っていた
一條房公が幅多へ下向します。
この出来事は、京都の文化が地方に伝播したというだけでなく、
わたしたちの町に『一條さんのまち』という
強い個性が生まれるきっかけになったのです。

鶴亀三つ組盃

祝い事に用いられた
朱漆の漆器大中小3枚のセット品。



拾得図 一條房家が藤林寺へ寄贈したと伝わる寒山拾得図二幅のうちの一。幅。

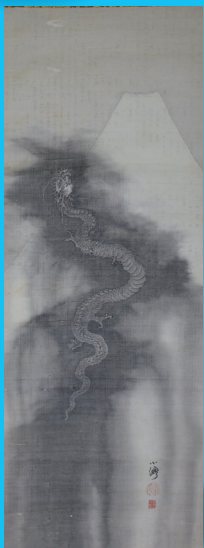


頭形兜

室町時代の兜。
二枚胴具足と
セツトになっているもの。

昇龍図

四万十市下田出身の絵師、島村小湾が描いた昇り龍。



提灯

江戸時代に屋外で
使用された照明器具。



色漆蒔絵

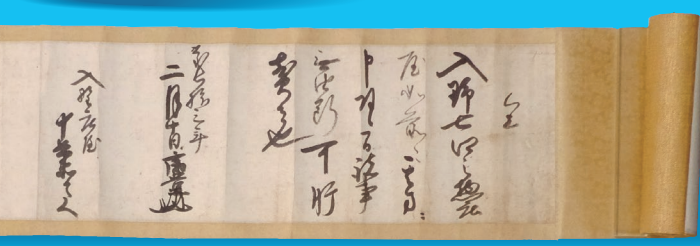
猩々図平椀

江戸時代の蓋付き漆器。



山内忠義書状

山内忠義が康豊を名乗って
署名する時期の珍しい手紙。



歴史と文化に学ぶ。

四万十川にはたくさん集落が点在し、
その環境に応じた暮らしを続けています。
地域に継承される川とともにある
暮らしや歴史、文化に光を当て、
その意味や大切さを考えます。

ヤイロチヨウ

高知県の鳥にもなっている。
美しい青い羽を持つ。



糸引き独楽

糸を引いて回転させる独楽。



ツキノワグマ

高知県東部で捕獲された
ツキノワグマの剥製。
為松公園内の動物園で
飼育されていたもの。



ピク
とった魚を
入れておく竹製の籠



木挽き鋸

林業で使われたのこぎり。



十手

江戸時代の
捕り物道具の一種。



スペンサー銃

幕末にかけて使用された元込め式の銃。

